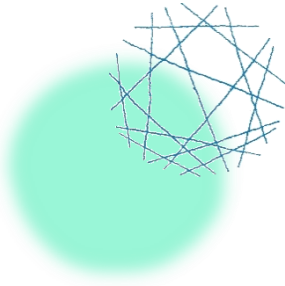


とよたの
こども食堂





はじめに

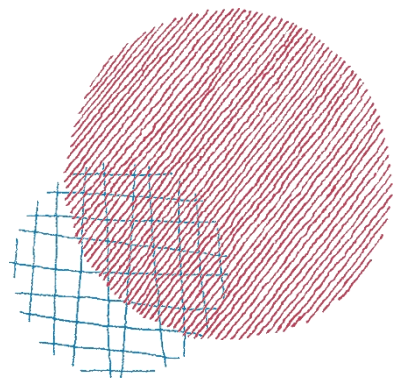
この冊子は

豊田市のこども食堂を知ってもらうためにつくりました。

こども食堂は、こどもの居場所のひとつです。

「仲間と立ち上げたい」と思ったり、

寄付やボランティアをするきっかけにいただけたら幸いです。



こども食堂ってどんな場所??

豊田市内では、市民による自発的な地域活動のひとつとして「こども食堂」が広がっています。

こども食堂は、こどもたちにとって家でも学校でもない地域の居場所であり、**地域の人たちと交流しながら調理や食事を通して、さまざまな学びや体験ができる場**になっています。

そこに集うこどもたちや子育て家庭のためだけではなく、地域の大人のいきがいくりの場として、学生の社会体験の場として、地域の交流スペースとして、こども食堂は多様な役割を担っています。

こども食堂の多様な役割

地域のいきがいくりの場



学びや体験の場



地域の交流スペース



こどもたちの交流の場



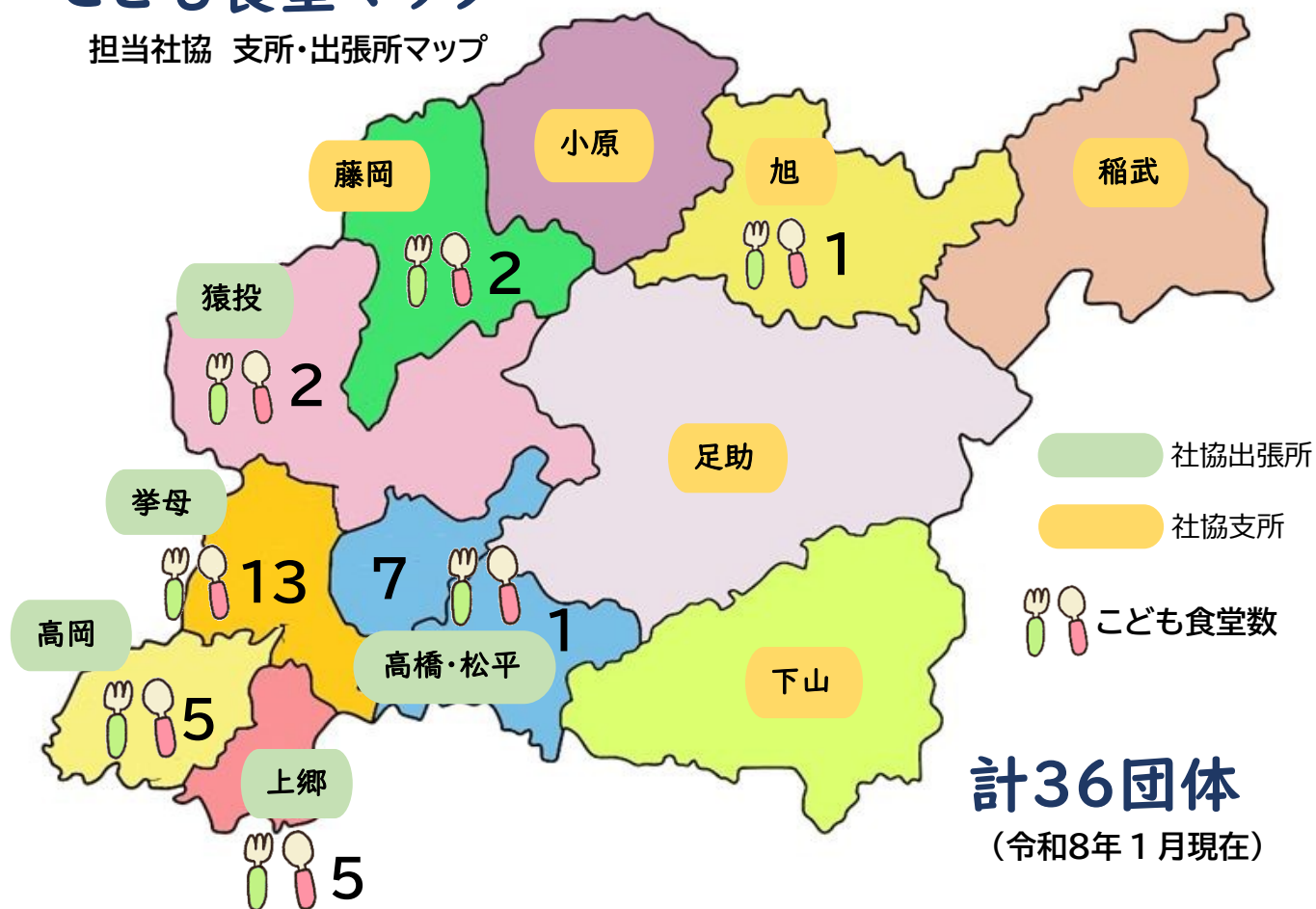
も く じ

担当	中学校区	こども食堂名	ページ
挙母(本所)	崇化館	① めくもり♡ねっと	4
		② ひまわり邸 KODOMO 食堂	5
		③ わかしちハウス	6
	梅坪台	④ うめつぼ子ども食堂	7
		⑤ スフィアキッチン	8
		⑥ 子どもキッチンひろば	9
	浄水	⑦ 逢妻っ子 子どもの茶の間	10
	朝日丘	⑧ 龍の子	11
		⑨ 子どもカフェ まんぷく	12
		⑩ 山二食堂	13
		⑪ しもいちばわいわい子ども食堂	14
	逢妻	⑫ きらりん	15
		⑬ アイビーの庭	16
高橋・松平	高橋	⑭ クックくらがいい	17
		⑮ JA 高橋テラスゆうきの会	18
		⑯ もぐもぐ子ども食堂	19
		⑰ サン くらがいい	20
	美里	⑱ 東山ぐうぐう食堂	21
		⑲ ビストロスマイリング	22
	益富	⑳ さくらんぼ会	23
	松平	㉑ 松平こども食堂	24
上郷	末野原	㉒ こどもとつくる10代子ども食堂「ゆるっと ほっと かふえ」	25
		㉓ 遊びとくらしのまなびの家 ちゃぽっと	26
	上郷	㉔ 郷の里	27
		㉕ 榊塚西町多世代サロン型子ども食堂	28
		㉖ みんなのげんき食堂	29

担当	中学校区	こども食堂名	ページ
高岡	高岡	㉗ こども食堂 さんぽみち	30
		㉘ エンジェル子ども食堂	31
	前林	㉙ 前林ひまわり食堂	32
	若園	㉚ おおぞらランチ	33
	竜神	㉛ なないろ竜神	34
猿投	猿投台	㉜ チーム トジャク	35
	保見	㉝ MINNA 子ども食堂	36
藤岡	藤岡	㉞ RAINNBOW カフェ	37
	藤岡南	㉟ ふじおか子ども食堂	38
旭	旭	㊱ リトルキッチンクラブ	39

こども食堂マップ

担当社協 支所・出張所マップ



※お問い合わせは41ページを参照してください

① めくもり♡ねっと

《特徴・テーマ》

「食」と「あそび」を通して地域とのつながりを感じる居場所づくり

実施概要

運営者

めくもり♡ねっと
(ボランティアグループ)

開催場所

崇化館交流館
(昭和町2-46)

開催日時

毎月第3土曜日 10時～13時
(学習支援 10時～11時)

対象者、参加費

拳母小学校 1～6年生
崇化館中学校 1～3年生
子ども 100円
ボランティア 100円

開始時期

令和元年5月

支援・寄付のお願い

寄付のお願い

食材、菓子、飲み物、野菜、
寄付金

ボランティア募集

調理補助、学習支援、
話し相手、遊び相手

めくもり♡ねっとは、子どもたちの居場所として、ひとりひとりを丁寧に受けとめ、見守りながら“食”や“あそび”を通して地域の方々とふれあうことのできる場所であり、こどもが心を開き安心できる居場所でありたいと願っています。

始めたきっかけは何ですか？

ひとり親家庭を含め様々な要因により居場所を必要としているこどもたちがいることに気づき、地域において助け合いや見守りが必要であることを感じています。

いろいろな立場の人たちとネットワークを築き、こどもたちの成長を見守り続けたいと始めました。

立ち上げ時に苦労したことを教えてください

こどもの居場所づくりやこども食堂について知識が少なく、市役所や社会福祉協議会に相談をしたり、メンバーと研修を行いながら、1年かけて立ち上げました。

やりがいを感じるのはどんなときですか？

こどもたちが元気に参加し、友達同士で遊びや会話を楽しむ姿、また、嫌いな食べ物を少しずつ食べようとする姿、帰りには「来月も来るよ」と声をかけて帰る姿は嬉しくなります。

なお、応援してくださる地域の企業や個人の方々のご支援にはやりがいを感じております。

今後も家庭とこどもたちの期待に一步步でも前進し、「食」と「遊び」、「学習支援」における将来的な目標を模索していきます。



② ひまわり邸 KODOMO 食堂

《特徴・テーマ》

老人ホーム併設カフェですが、この日は子供が主役

実施概要

運営者

地域密着型複合福祉施設
ひまわり邸

開催場所

特別養護老人ホーム1階
カフェ向日葵
(栄生町5-20)

開催日時

偶数月の第4土曜日
11時30分～13時30分

対象者、参加費

中学生以下 100円
同伴者 500円

開始時期

平成30年7月

支援・寄付のお願い

寄付のお願い

食材、菓子、絵本

ボランティア募集

遊び相手

ひまわり邸 KODOMO 食堂は、地域の方と施設入居者がつながる居場所を目指しています。

ボランティアの方と一緒に企画などをしていながら、地域の方に気軽に立ち寄ってもらえる多世代交流の場を目指していきたいと考えています。

始めたきっかけは何ですか？

地域密着型複合福祉施設として、地域貢献ができないかを考え、子ども食堂を立ち上げました。貧困世帯やひとり親家庭の子ども達の居場所だけでなく、地域の方と施設入居者がつながる居場所になるようにと始めました。

立ち上げ時に苦労したことは何ですか？

立ち上げた当時は、「子ども食堂」が認知されていなかったため、自治区や民生委員児童委員などの地域の方々に理解してもらうため、説明に行ったり、ボランティアなどの協力者を集めることが大変でした。また、支援が必要な子ども達に、情報提供をすることがとても難しかったです。

やりがいを感じるのはどんなときですか？

実際に始めてみると、毎回参加をしてくれる子ども達も増えて、「次はいつやるの？」と楽しみにしてくれている様子が分かったときに、開催して良かったと思います。また、準備したゲームに笑顔で楽しんでいる姿を見ると、スタッフが元気をもらっています。

ホームページ

 <https://www.fukujuen.or.jp/>



③ わかしやちハウス

《特徴・テーマ》

新しいことに挑戦しよう！子どもと大人と一緒に創る楽しい居場所

実施概要

運営者

わかしやちハウス
(ボランティアグループ)

開催場所

豊田産業文化センター
(小坂本町 1-25)

開催日時

毎月第2日曜日 11時～15時

対象者、参加費

元城小学校の子ども 100円

開始時期

令和4年6月

支援・寄付のお願い

寄付のお願い

食材、菓子、飲料水、寄付金

ボランティア募集

調理補助、遊び相手、話し相手

わかしやちハウスは、調理だけではなく工作やゲストを招いたイベントを計画し、子どもが知識と経験を深めてもらいこれからの将来につながることを目指しています。子どもにとって安心できる居場所のなかで、多世代の方々と関りながら自分を認め新しいことに挑戦をする気持ちを育みたいという思いで活動しています。

始めたきっかけは何ですか？

身近にひとり親家庭やヤングケアラーの子どもがいて、私自身も家や学校に居場所がなく、周りに頼れる大人がいなかった経験から、子どもに手を差し伸べられたらという思いから始めました。メンバーは、私の思いに共感をしてくれたママ友が中心となっています。

立ち上げ時に苦労したことは何ですか？

会場が決まらず苦労しました。会場費や設備などの問題で探すのに半年かかりました。また、立ち上げ時は不安が多く、社会福祉協議会や市役所の協力もあり立ち上げることができました。

やりがいを感じるのはどんなときですか？

子ども達が毎月楽しみにして来てくれることや、一緒に調理や工作を行うなかで「おいしい」「できた」などの喜びを一緒に共有できることがやりがいになっています。また、子どもと関わる時間を多くもてるように工夫し、子どもの思いに共感しながら話をしたり、楽しい時間を過ごせることを目指しています。

SNS

 bvd5080t



④ うめつぼ子ども食堂

《特徴・テーマ》

ミニ講座＋朝食で、誰かのために役立つ食堂を目指して

実施概要

運営者

うめつぼファミリークラブ
(ボランティアグループ)

開催場所

デイサービスよっといでん
(西山町2-3 8-1)

開催日時

毎月第3日曜日
8時30分～11時
(なくなり次第終了)

対象者、参加費

梅坪台中学校区内に在住
子ども 100円
大人 200円

開始時期

平成27年10月

支援・寄付のお願い

寄付のお願い

食材、菓子、飲料水、寄付金

ボランティア募集

調理補助、学習支援、話し相手、
遊び相手

うめつぼ子ども食堂は、地域にたくさんの顔見知りを増やして、誰かのために役立つ食堂を目指しています。

ミニ講座＋朝食のスタイルで、地域のニーズに合わせて対応していきます。もちろん講座に参加せず、ふらっと気軽に遊びに来られるようにしています。

始めたきっかけは何ですか？

超高齢社会のなかで地域力を強めていきたいと思いました。

多世代が交流するなかで、「高齢者の方が活躍する場所があったらいいな」「子ども達が楽しみながら大切なことを学べる場所があったらいいな」「現役世代が地域の活動を知り、参加してもらえたらいいな」などの思いから始まりました。

立ち上げ時に苦労したことは何ですか？

食べ物を扱うため、開催する内容も場所も限られてしまうことや、「子ども食堂は貧困世帯のもの」という認識がまだまだ強く、「豊田市には関係ないのではないかな？」という意見が多かったです。

やりがいを感じるのはどんなときですか？

「一度来た方がまた来てくれる」「食事が美味しいと言ってもらえた」「ボランティア仲間が増えた」「みんなが笑顔になった」というときにやって良かったな、と思います。

SNS



うめつぼファミリークラブ



⑤ スフィアキッチン

《特徴・テーマ》

個性や特徴をもった子どもが、チャレンジできる場所を一緒につくろう！

実施概要

運営者

スフィアキッチン
(ボランティアグループ)

開催場所

障がい者福祉会館
(西山町5-26)

開催日時

毎月第4土曜日
10時～13時30分

対象者、参加費

豊田市内の障がい児
子ども 100円
大人 300円

開始時期

令和3年12月

支援・寄付のお願い

寄付のお願い

食材、菓子、飲料水、寄付金

ボランティア募集

遊び相手

外国人家庭・生活困窮家庭を含めた、様々な方に参加をしてもらい、子ども食堂を通して必要としている情報を繋げてあげられることを目指しています。

始めたきっかけは何ですか？

障がい児の子どもが周りに遠慮することなく、気軽に参加ができる居場所をつくりたいと思い始めました。

一緒に参加する親も参加している時間はゆっくりと過ごしてほしいと思います。

立ち上げ時に苦労したことは何ですか？

ボランティアメンバーを探すのに苦労しました。周りの人にいろいろ声をかけましたが、小さい子どもがいる家庭や仕事をしている人が多かったため、活動する時間に手伝ってもらえるボランティア探しは難しかったです。

やりがいを感じるのはどんなときですか？

子どもたちの障がい特性を理解しながら、子どもと一緒に参加している親が安心して居場所に参加している姿を見るとき。



SNS

 sphere.kitchen

⑥ 子どもキッチンひろば

《特徴・テーマ》

児童と一緒に料理を作り、食事をして交流を深めます

実施概要

運営者

うめつぼ広場実行委員会
(ボランティアグループ)

開催場所

梅坪台交流館
(梅坪町 1-15)

開催日時

毎月第4日曜日 10時～13時

対象者、参加費

梅ヶ丘学園児童 無料

開始時期

令和5年6月

支援・寄付のお願い

寄付のお願い

食材

ボランティア募集

調理補助

参加対象児童を限定していますが、ボランティアメンバーを若者から年配者まで多世代より募り幅広い交流を図れるようにしたいです。一緒に料理と食事をするスタイルを基本としながらも、野外活動や学習支援等のイベントもタイムリーに企画実施したいです。

始めたきっかけは何ですか？

令和5年の初めに地域住民の交流促進や居場所づくりを目的に梅坪台コミュニティメンバーを中心にボランティア団体を立ち上げました。具体的な活動内容の一つとして地元にある児童養護施設の子ども達に寄り添いたい、支えたいと考えるのは必然だったと思います。

立ち上げ時に苦労したことを教えてください

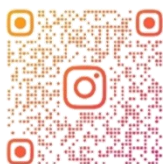
子ども食堂対象者を一人親世帯や生活困窮者等に想定したので募集方法が難しそうでした。またマンパワーや資金・食材確保、保管場所等課題が山積みでした。周りのアドバイスもあり子ども食堂のスタイルをターゲット型にして身の丈に合った活動となりました。

やりがいを感じる時はどんなときですか？

単に食事を提供するだけでなく一緒に料理をする中で、子ども達が先月よりも積極的に料理に取り組む様子を見ると、活動を継続して良かったと思えます。また子供達や施設の職員から「楽しかった」「来月も参加します」「次は〇〇が食べたい」等のポジティブな声を見聞きすると、主催者冥利に尽きます。これまで継続してきて、子ども達と信頼関係が構築されてきたと感じます。これからも手伝ってくれるボランティアと一緒に、みんなが楽しい子ども食堂でありたいです。



SNS



@UMETSUBO_HIROBA

⑦ 逢妻っ子 こどもの茶の間

《特徴・テーマ》

どんな環境にも負けない子を地域で育むお手伝い

実施概要

運営者

こどもの茶の間応援隊
(ボランティアグループ)

開催場所

県営逢妻集会所
(逢妻町 3-3 3)

開催日時

子ども食堂：
偶数月第1日曜日
10時～13時
パントリー：毎月数回

対象者、参加費

逢妻県営団地に在住
子ども 無料

開始時期

令和2年2月

支援・寄付のお願い

寄付のお願い

食材、お菓子、飲料水
寄付金

ボランティア募集

調理補助、話し相手、
遊び相手

逢妻っ子 こどもの茶の間は、子ども達に食事だけでなく、社会で生き抜く知恵を様々な体験の中で培うことを願っています。

子ども同士・スタッフの方々・大学生をはじめ地域住民との関わり合いの中から、学んで欲しいと願っています。

始めたきっかけは何ですか？

メディアでひとり親家庭の特集をしているのを見たときに、「ひとり親家庭の人が『月に数回ご飯を食べられないことがある』という話をしている」のを見て、グッと胸にくるものがありました。県営住宅に住む経験から「まずは立ち上げなければ何も始まらない」と思い始めました。どんな環境にも負けない子を地域の力で育むお手伝いがしたいと思っています。

立ち上げ時に苦労したことは何ですか？

ひとり親家庭の子どもを中心に、子ども達を募集することが難しかったです。また、ボランティアの協力を得ることも難しかったです。

やりがいを感じるのはどんなときですか？

子どもやボランティアが、元気に明るく子ども食堂に来てくれて、一生懸命に調理をしている姿を見たときや、「ありがとう」と言われたときに嬉しい気持ちになります。また、地域の方々からの応援を感じた時は、これからも細く長く継続していこうとあらためて思えます。



⑧ 龍の子

《特徴・テーマ》

「子どもが夢をもてるようになる」ことを目指して

実施概要

運営者

龍の子
(ボランティアグループ)

開催場所

神龍寺(朝日ヶ丘 6-4-1)

開催日時

毎月第3金曜日 12時～14時
毎週火曜日 16時～20時

対象者、参加費

豊田市内の子ども
子ども 無料(要申し込み)

開始時期

令和元年6月

支援・寄付のお願い

寄付のお願い

食材、菓子、飲料水、寄付金

ボランティア募集

調理補助

龍の子では、家庭に閉じこもりがちな子ども達が、家や学校ではない気軽に行くことができる居場所づくりを目的に活動しています。

食事を作ることだけでなく、子どもが興味を持ったことに一緒に取り組んでいけるような場所にしていきたいです。

始めたきっかけは何ですか？

研修会で「子ども食堂」のことを知りました。家庭に閉じこもりがちな子ども達がいることを活動のなかで感じていたため、子ども達が食を通じて命の大切さを学べる場所を作りたいと思い、まずは、一歩外へ出るきっかけ作りとなるように始めました。

立ち上げ時に苦労したことは何ですか？

支援の必要な子どもがわかってもどのように関わっていけばよいのかわかりませんでした。活動を続けていることで、今では学校からの紹介があり、参加人数が少しずつ増えてきています。

やりがいを感じるのはどんなときですか？

参加している子どもが、自分の気持ちを表現できたり自分でどうしたらいいかを考え行動できるようになったり、大きい子が小さい子の世話をするようになったこと。学校に再び行くことができ、家族がホッと安心している姿を見るとき。保護者の方から「子どもが自由にのびのびと遊べる雰囲気良かった」と言ってもらえて、「これで良かったんだ」と思えました。今ではそのお母さんもボランティアとして心強いメンバーになってくれています。



⑨ 子どもカフェ まんぷく

《特徴・テーマ》

多年齢と関わりながら、子ども達が安心して過ごせる居場所

実施概要

運営者

笑顔守隊
(ボランティアグループ)

開催場所

豊田産業文化センター
(小坂本町 1-2 5)

開催日時

第2土曜日 14時30分～
第3土曜日 14時30分～
第4土曜日
11時30分～12時30分
(会場の都合で変更や中止あり)

対象者、参加費

豊田市内に在住
子ども 無料～100円
大人 お問合せください

開始時期

令和元年9月

支援・寄付のお願い

寄付のお願い

食材、菓子、飲料水、寄付金

ボランティア募集

調理補助、学習支援、
話し相手、遊び相手

子どもカフェ まんぷくは、子ども達が、多年齢の方々との交流を通して豊かな心を育み、また、他者との関わりの中で社会性や協調性を身につけることを大切に活動しています。昔ながらの遊びを踏まえたイベントや、郷土料理や子どもにも作れるおかずも取り入れながら、子ども達を中心に楽しく過ごせる居場所づくりを目指しています。

始めたきっかけは何ですか？

近年では、昔ながらの向こう三軒両隣のような交流もなくなり、ひとりで食事をするといった「孤食」の子ども達も増えています。また、家庭の事情や孤食のため、好きな物だけを何度も食べるなどの「固食」の子どもも多くみられることを知り、こうした子ども達が安心して過ごせる居場所を作ろうと思い始めました。

立ち上げ時に苦労したことは何ですか？

催す場所を探すことが一番苦労しました。場所が見つからず、やむを得ず、経営しているお店で始めました。しかし、新型コロナウイルスの影響もあり、広い場所を確保するため、産業文化センターを利用して活動しています。

やりがいを感じるのはどんなときですか？

イベントで遊んでいるときや、料理を作っているときの子どもたちの生き生きとしている姿や笑顔を見たときにうれしく思うとともに、「子どもの笑顔に勝るものはない」と感動しています。また、忙しい保護者が多いなか、子ども達とお母さんが楽しそうに作っている姿を見て、親子のふれあいの時間を持てて良かったとも思います。スタッフが、子ども食堂のために一生懸命に取り組む姿や、時間を作ってくれていることに感謝し、スタッフの居場所でもありたいと思います。



⑩ 山二食堂

《特徴・テーマ》

子どもも大人も、多世代交流しながらホッとできる場所作り

実施概要

運営者

山二食堂
(ボランティアグループ)

開催場所

個人宅

開催日時

毎月第1木曜日
16時～17時

対象者、参加費

どなたでも
子ども 無料
大人 無料

開始時期

令和2年9月

支援・寄付のお願い

寄付のお願い

食材、菓子、飲料水、米、
寄付金

ボランティア募集

調理補助、
フードパントリーお手伝い

山二食堂は、老若男女・貧富・国籍・すべて関係なく、どなたでも来ていただけて、どなたでも参加していただける場所を目指しています。

世代を超えた関わり合いで大家族のような温かい雰囲気を作るように心掛けています。温かい食事が、みんなで一緒に食べられるような子ども食堂を開催したいです。そして、食事だけでなく、ほんの少し心の休憩ができるような敷居の低い場所にしていきたいです。

始めたきっかけは何ですか？

旬の新鮮な食材を使って、みんなで一緒にご飯を作って食べたり、それだけでなく、一緒に遊んだり勉強するなど、子どもも大人もホッとできる場所を作りたいと思って始めました。

立ち上げ時に苦労したことは何ですか？


立ち上げには、社会福祉協議会の支援もあったため、その都度困ったことを聞くことができました。しかし、新型コロナウイルス感染症の拡大で、計画していた内容ができないことに困りました。最初は、食材を配布するフードパントリー活動（山二食堂では「おすそわけ会」と呼んでいます）から開始しましたが、今は食事の提供をしています。

今後も活動していきながら模索していきたいです。

やりがいを感じるのはどんなときですか？

参加した人たちから「ありがとう」と言っていただき、喜んでもらえると嬉しいです。また、支援してくださる企業や地域の方々のおかげで活動ができていることに大変感謝しています。

SNS

 山二食堂



⑪ しもいちばわいわい子ども食堂

《特徴・テーマ》

子どもも大人も工夫を凝らして、より楽しい活動に

実施概要

運営者

しもいちば
わいわい子ども食堂
(ボランティアグループ)

開催場所

休会中

開催日時

毎月第1または第3日曜日
9時～15時

対象者、参加費

朝日丘中学校区内に在住
または、根川小学校の子ども
子ども 100円
大人 300円～

開始時期

令和3年3月

支援・寄付のお願い

寄付のお願い

食材、菓子、飲料水、寄付金

ボランティア募集

学習支援、話し相手、
遊び相手

しもいちばわいわい子ども食堂では、地域の子どもが家や学校でない、一人でも来られる居場所づくりを目指しています。

1年を通して四季の手仕事や、ちょっとした体験、経験をして生きる力を身につけてもらいたいと考えています。

始めたきっかけは何ですか？

「こどもの居場所をつくりたい！」と思い、地域の方やママ友から募集して始めました。調理と四季の手仕事など季節に合わせたイベントもしています。

立ち上げ時に苦労したことは何ですか？

立ち上げの資金作りに苦労をしました。

知り合いに教わりながら、クラウドファンディングをして立ち上げ資金を募りました。クラウドファンディングをしたことで、立ち上げ前から地域の人に知ってもらえたので協力者が増えました。

やりがいを感じるのはどんなときですか？

子どもたちが調理やトウモロコシのもぎ取り体験をして、「楽しい」と言ってくれるときや、親御さんに感謝されたときは嬉しい気持ちになります。

定期的開催をすることで、子どもだけで参加してくれることも増えてきました。今後は、より深いサポートをしていくことが目標です。



SNS



しもいちばわいわいこども食堂



shimoichibawaiwaikodomoshitang

⑫ きらりん

《特徴・テーマ》

じぶんでつくとおいしい！みんなでたべるともっとおいしい！

実施概要

運営者

きらりん
(ボランティアグループ)

開催場所

深田山第2公会堂
(田中町4-1-11)

開催日時

原則第4土曜日
10時～13時

対象者、参加費

逢妻中学校区在住の小学生
子ども 100円

開始時期

平成30年4月

支援・寄付のお願い

寄付のお願い

食材、菓子、飲料水、寄付金

きらりんでは、調理について学ぶと同時に、知らない子ども同士や大人とのコミュニケーションを大切に、居心地の良い場所になるよう心がけています。

子どもに対する丁寧な関わりが必要と考え、人数制限をしています。スタッフ同士で、子どもの様子を報告し、共通認識と課題の解決に繋がります。

始めたきっかけは何ですか？

メディアで貧困・ひとり親家庭・不登校などを対象とした子ども食堂が話題になっていることを知り、関心をもちました。学校や自宅でない新しい場所で、子どもの居場所になるようにと活動を始めました。

立ち上げ時に苦労したことは何ですか？

支援が必要な子どもに、情報提供をすることが難しかったです。また、アレルギーのある子ども・障がいのある子どもなどどこまで対応できるかを悩みましたが、可能な限り、親御さんと相談しながら見守っています。

やりがいを感じるのはどんなときですか？

子ども達が調理を楽しそうに、真剣に取り組んでいる様子を見たときや、「今まで食べられなかったものが一口でも食べられた」と報告してくれる子どもがいたときに嬉しく感じます。あえて、他学年の子どもが仲良く関われるように席の配置などを工夫しているので、高学年の子が低学年の子をお世話しているのを見ると頼もしく感じます。また、ボランティアに会えることを楽しみにしている子どもがいることもやりがいのひとつです。今後は、家庭環境により、生きづらさを抱えている子どもへのアプローチを考えていきたいと思っています。まずは、勉強を教えられるように「アイビーの庭」(次ページ参照)を始めました。



⑬ アイビーの庭

《特徴・テーマ》

家族に寄り添いながら、子どもの学習の習慣化を目指して

実施概要

運営者

アイビーの庭
(ボランティアグループ)

開催場所

西部コミュニティセンター
(本新町 7-4 8-6)

開催日時

土曜日 (月 3 回開催)
15 時～17 時

対象者、参加費

豊田市内に在住
子ども 無料

開始時期

令和元年 8 月

支援・寄付のお願い

寄付のお願い

食材、菓子、飲料水、寄付金

アイビーの庭では、子ども達に勉強を中心に教えています。

子ども達に寄り添いながら、子どもが日々の悩みを相談できる場所、自分の生き方に自信をもち、前に進んでいけるようなサポートできる居場所にしていきたいと思っています。生活環境の不安定な子どもたちの見守りも大切にしています。

始めたきっかけは何ですか？

子ども食堂「きらりん」(前ページ参照)の活動をしていくなかで、外国にルーツを持つ子どもや学校に行きづらい子ども・ひとり親家庭・貧困・孤食の子どもに対して、より丁寧に見守っていきながら勉強や生活経験を学ぶことのできる環境を整えてあげたいと思ったのが始まりでした。

立ち上げ時に苦労したことは何ですか？

子ども食堂を 1 つ立ち上げた経験から、スムーズに始めることができました。

やりがいを感じるのはどんなときですか？

子どもが、ボランティアと話すことを楽しみにしてくれるときです。参加できない子どもには家庭訪問にて食材の提供と状況の確認をし必要に応じて相談窓口につなげていきます。



⑭ クックくらがいけ

《特徴・テーマ》

調理・遊び・物づくり。楽しいことを子どもたちと共に

実施概要

運営者

クックくらがいけ
(ボランティアグループ)

開催場所

- ①調理実習等
高橋交流館(高橋町 3-100-1)
- ②パントリー
事務局 増田

開催日時

- ①原則第4日曜日 10時～14時
- ②随時 LINEにて

対象者、参加費

豊田市内全域の子ども
参加費 無料

開始時期

令和2年9月

支援・寄付のお願い

寄付のお願い

- ・食材、菓子、飲料水、寄付金
- ・生活に必要な物すべて

ボランティア募集

- ・調理補助、遊び相手
- ・支援物資受取ドライバー

クックくらがいけは、子どもが地域の調理室で料理を作り、家庭にて自分で料理が作れるようになることが目的の活動をしています。

地域の人々と交流し、調理・遊び・物づくり・学習を子どもたちが自分で考えて自分で行動をするための手助けができるよう進めたいです。子どもたちが少しでもホッとできる居場所活動になることを目標にしています。

始めたきっかけは何ですか？

「子どもと一緒に食事を作り、楽しい時間が出来れば」と簡単な気持ちで始めました。子どもたちが楽しく、自立でき、それがひとり親の手助けにつながっていただけたら良いと思います。

立ち上げ時に苦労したことを教えてください

コロナ禍で当初の施設が使用できなくなり、開催場所が定まらず不安定な開始でした。また、開催案内チラシや告知も、あまり反響がなく子どもへの周知がとても大変でした。地道に声をかけたり SNS で発信をして周知されるようになってきました。

やりがいを感じる時はどんなときですか？

フードパントリー活動(おすそ分け会)では、皆さまが食材を一杯抱え笑顔で帰られるときや、「これで、また生き延びられるよ」と声をかけられたり、(家の中で)笑顔が見られるようになりましたと言われた時やりがいを感じうれしいです。コロナウイルスが落ち着いた令和3年12月5日より、調理を開始することができ子どもたちが喜んでいるのがうれしい。5年目の今では子どもたちが自分の孫のように話しかけてくれて、お母さまからのお話、相談して頂けるようになってきました。やってよかったなと感じました。

今後も、子ども達の笑顔にふれ『毎回、参加したいな』と言ってもらえる活動に、また、地域への理解を深めていきたいです。気軽にお声かけして下さい!!



SNS



Kukukuragaike0916

《特徴・テーマ》

子どもたちにとって、安全安心な街づくりを目指して

実施概要

運営者

JA 高橋テラスゆうきの会
(ボランティアグループ)

開催場所

あいち豊田農業協同組合ふれ
あい振興部ふれあい中部セン
ター (高橋町 2-94)

開催日時

第 4 日曜日
11 時～13 時 30 分

対象者・参加費

寺部小学校の子ども 100 円
大人 300 円

開始時期

令和 3 年 4 月

支援・寄付のお願い

寄付のお願い

食材、菓子、飲料水、寄付金

ボランティア募集

調理補助、遊び相手

JA 高橋テラスゆうきの会では、美味しい食事を一緒に作るだけでなく、安全安心な街づくりや、未来を担う子どもたちの心と体の健全な成長・発達に貢献することも重要な使命だと考えています。食農教育、農業学習から、安心安全な自然栽培での野菜づくりを通じて多様な感性を育む場の提供に取り組んでいます。

始めたきっかけは何ですか？

コロナウイルス感染禍中において、テレビ・新聞等で子どもの貧困家庭問題の記事を見るたびに、私の心が大きく動き、本当に困っている方々に何が出来るかを考えました。

向こう三軒両隣のおすそ分け活動が出来ないかと思い、中高年の方々に呼び掛けをしたところ、20 数名メンバーが集まり始めることができました。

立ち上げ時に苦労したことを教えてください

活動資金、食材寄付の不安定さを毎月どうやりくりをしようかと心配が絶えない月日でした。

助成金を申請して資金集めをしました。寄付の情報を多く受け取れるように SNS ができるメンバーと役割分担をしました。

やりがいを感じる時はどんなときですか？

参加者からの「ありがとう」その一言に私たちボランティアの心を強く打たれました。



⑬ もぐもぐ子ども食堂

《特徴・テーマ》

個性を活かして子ども・高齢者の方が1人でも参加できる

実施概要

運営者

もぐもぐ子ども食堂
(ボランティアグループ)

開催場所

県営美和団地集会場
(美和町3-25)

開催日時

第2土曜日
10時～15時30分
(夏休み、冬休みは月2回)

対象者、参加費

県営美和団地に在住
中学生まで 無料
高校生以上 300円

開始時期

令和3年5月

支援・寄付のお願い

寄付のお願い

食材、菓子、飲料水、寄付金

ボランティア募集

調理補助、学習支援、
話し相手、遊び相手

もぐもぐ子ども食堂は、地域の多世代交流型、食育の場の提供を目的に活動しています。

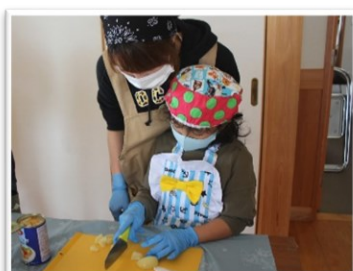
調理だけではなく、様々な事を一緒に体験したり自由に遊べるように工夫をして開催しています。子ども・高齢者の方が1人でも安心して参加でき、1人ひとりの個性を大切にして寄り添うことで、自分の「居場所」として気楽に立ち寄ってもらえるような雰囲気づくりをしていき、決まったところにある居場所として長く活動を続けていきたいです。

始めたきっかけは何ですか？

地域の子どもから高齢者と様々な世代・国籍の方々が集まり一緒に料理をして食事・片付け・遊びをすることによって、地域活性化・生きがいつくり・孤食対策へつながり、食べることの楽しさを感じてもらいたいと思い立ち上げました。子ども食堂に参加し、交流することによって顔見知りが増え、活動日以外の時でもコミュニケーションがとれるようなつながってほしいと思います。私の思いを話す中で賛同してくれた子育て世代・育児経験者などのメンバーと「もぐもぐ子ども食堂」として活動を始めました。

やりがいを感じる時はどんなときですか？

調理実習の際に、初めて料理にチャレンジする子どもの嬉しそうな表情や達成を喜ぶ姿みるとき。また、行事食を取り入れていることもあり、参加してくれる他国の方々が日本文化に興味を示してくれることが嬉しいです。更に、帰り際に「ありがとう」「次はいつ？また来るね」と言って元気よく帰っていく姿を見て、やりがいを感じています。



SNS



472valhv



mogmog.kodomosyokudou

⑰ サン・くらがいいけ

《特徴・テーマ》

包括的地域福祉を念頭にした多世代交流型子ども食堂

実施概要

運営者

サン・くらがいいけ
(ボランティアグループ)

開催場所

特別養護老人ホーム
くらがいいけ
(住所：岩滝町高入 40-1)

開催日時

毎月第2日曜日
11時から14時

対象者、参加費

どなたでも参加できます
1人100円

開始時期

令和5年10月

支援・寄付のお願い

寄付のお願い

食材、菓子、寄付金

ボランティア募集

調理補助、遊び相手、
運営ボランティアスタッフ、
相談相手

子ども食堂を基盤に、地域交流と包括的地域福祉の基盤を創りたいです。地域への周知と多様な協力者を増やすことで、多様な多世代の人々が子供を中心に交流し、笑顔で支え合う地域づくりを目指します。

始めたきっかけは何ですか？

始めたのは偶然のきっかけですが、生活の上で食は大切であり、食べる事で皆が笑顔になります。笑顔溢れる地域を皆と一緒に楽しく作りたいと思って始めました。

立ち上げ時に苦労したことを教えてください

食材・人材・ボランティア・運営費の確保など、常に苦労しています。

やりがいを感じる時はどんなときですか？

みんなで食事をしている時、遊んでいる時、年齢差は関係なく同じ空間を共有し、みんなが笑顔で同じ時間を過ごしている時です。笑顔が一番です！



⑱ 東山ぐうぐう食堂

《特徴・テーマ》

家族以外の大人と関わり、幅の広い関係づくりを大切に

実施概要

運営者

東山ぐうぐう食堂
(ボランティアグループ)

開催場所

- ①おすそわけ会
市営東山住宅中央集会所
(東山町2丁目)
- ②子ども食堂
いま・ここ base
(渋谷町3丁目39-6)

開催日時

- ①おすそわけ会
偶数月の
第1または第2日曜日
16時～なくなり次第終了
※15分前から整理券配布
- ②こども食堂
毎月第3または第4日曜日
17時～18時30分

対象者、参加費

どなたでも♡
子ども 無料
大人 寄付金

開始時期

令和元年10月

支援・寄付のお願い

寄付のお願い

食材、菓子、飲料水、寄付金

ボランティア募集

調理補助、学習支援、話し相手
遊び相手、作業手伝い

東山ぐうぐう食堂は、地域の方々と共に、子ども達や高齢者の方を見守り、だれもが安心・安全な場となるような居場所づくりを目指しています。

誰もが来られる環境であることで、まわりに気づかれず、困っている、SOSを気軽に出すことができるからと考えています。また、子ども達にとって、家族以外の大人と関わりを持つことによって、幅広い関係づくりとなるように続けていきたいです。

始めたきっかけは何ですか？

子どもの居場所づくり事業を立ち上げ、1年過ぎて子ども達の日々の様子を会話からキャッチしたところ、1人で食事をしたり、帰宅の遅い親を待ったり、夕食をスーパーで買って食べていると知りました。「私たちにできることは何か？」と考え始めました。

やりがいを感じる時はどんなときですか？

子ども達が開催を楽しみに待っていてくれる様子が見受けられたり、親御さんから「助かります」と話しかけると、とてもやりがいを感じます。また、地域の方からの野菜の寄付やお手伝いもとても嬉しく、見守られ、応援いただいていると感じます。

立ち上げ時に苦労したことを教えてください

場所の確保、道具（食器・鍋など）の保管場所などハード面で苦労しました。現在も保管場所の確保は課題になっているので、地域の方々にも協力を呼びかけるなど模索しています。



SNS



一般社団法人 いま・ここ



imakokotoyota

①9 ビストロスマイリング

《特徴・テーマ》

じいちゃん・ばあちゃんも活躍し、若者・子どもを助ける食堂

実施概要

運営者

NPO 法人おんぶにだっこ

開催場所

スマイリングキッチン LABO
(中垣内町中道 20-1)

開催日時

第4金曜日
18時30分～20時00分

対象者、参加費

どなたでも
一食 500円
※未就学児 無料

開始時期

平成31年1月

支援・寄付のお願い

寄付のお願い

食材、菓子、飲料水、寄付金

ボランティア募集

調理補助、話し相手

ビストロスマイリングは、料理の作り手を要介護認定を受けている高齢者や障がいがある方をお願いすることで、役割を担ってもらっており、多世代交流の場にもなっています。

ビストロスマイリングがあることによって、地域の子育て世代を中心とした方々をサポートし、地域がつながるきっかけになることを目指しています。

始めたきっかけは何ですか？

デイサービスを利用する高齢者の中には、働くことや活躍することにまだまだ意欲を持っておられる方がいます。また、とても器用におやつや料理を作ってくださいます。一方で、デイサービスで働くスタッフは、仕事が終わると「さあ、晩御飯を作らないと！」ともう一仕事しに行くように帰宅します。そんな場面を見ながら、高齢者が活躍できる場所と、高齢者だけではなく子育て世代や共働き世帯の方々にもホッと一息できる場所を作りたいと思い、この活動を始めました。

やりがいを感じる時はどんなときですか？

食堂に来てくれた若者や子どもたちが、料理を作ってくれた高齢者や障がいがある方と楽しそうに交流をしている姿を見たり、子どもたちが美味しそうに料理を食べてくれる表情を見ると、やってよかったと思います。

立ち上げ時に苦労したことを教えてください

料理を作ってくれる高齢者を募集することと、料理を食べに来てくれる人たちの両方を集めることが大変でした。今は、介護福祉士や看護師と一緒に料理のサポートをしていることが周知され始め、参加する高齢者の家族も理解をして積極的に参加者を紹介してくれるようになりました。



SNS



スマイリング kitchen labo



②0 さくらんぼ会

《特徴・テーマ》

食を共に！仲間づくりをして、本当の強さを学べる居場所

実施概要

運営者

さくらんぼ会
(ボランティアグループ)

開催場所

益富交流館
(志賀町稔台30)

開催日時

第1・3日曜日
11時～14時

対象者、参加費

益富中学校区内在住
小学生 100円

開始時期

令和3年4月

支援・寄付のお願い

寄付のお願い

肉、寄付金

ボランティア募集

学習支援、話し相手、遊び相手

さくらんぼ会では、調理実習を通して子どもたちにいろいろなメッセージを伝えたいです。

活動を通して、子どもたちが様々な経験をしてメンタルが強くなることを期待しています。生活していく上で、皆さんが気軽に・元気に・笑顔で・生活できるお手伝い出来るようなボランティアグループでありたいです。

始めたきっかけは何ですか？

時代が変わり、一番大切な道徳心を教える機会が少なくなっていて、学校も教育が薄れていっているような気がしました。地域の元気な子どもたちに、本当の強さとは「優しさや時には我慢することだ」ということを知ってほしいと思っています。また、思いやりについて学べる居場所づくりを目指しています。いじめめる子ども、いじめられる子どものどちらにもならないよう、皆で話し合いもしようと思います。

子どもたちの将来のために、今元気な先輩たち（高齢者）の力と経験を元に学校では学べないことを伝えていき、明るく、元気な子どもの育成になればと思います。小学校は違っても食を共にした仲間づくりをしながら、将来の思い出づくりができればと思っています。

立ち上げ時に苦労したことを教えてください

始めるにあたっては、とくに苦労はありませんでした。協力してくれる方が多くスムーズに立ち上げができました。

やりがいを感じる時はどんなときですか？

子どもたちが食事を真剣に作ってる様子。その後の手紙をもらったとき。子どもたちと過ごせる時間を大切にしていこうと思っています。



②1 松平子ども食堂

《特徴・テーマ》

子育て家庭の支援と子どもたちの居場所づくり

実施概要

運営者

松平子ども食堂
(ボランティアグループ)

開催場所

Café EUREKA (ユリイカ)
(鶴ヶ瀬町高瀬下 6 番地)

開催日時

不定期
(主に小学校の長期休業中に開催)

対象者、参加費

松平地区の小学生と
その兄弟姉妹 (3 歳以上)
一人 100 円

開始時期

令和 5 年 1 2 月

支援・寄付のお願い

寄付のお願い

食材、お菓子

松平子ども食堂は、松平地区の子どもたちが安心して楽しく過ごせる居場所づくりをめざしています。

また、食事の配膳や後片付け、使った遊び道具の片付けなどもすすんでできるよう支援していきたいと思っています。

始めたきっかけは何ですか？

松平地区の民生児童委員、主任児童委員が中心となって「松平地域の子育て家庭を支援していくためにできること」として始めました。

立ち上げ時に苦労したことを教えてください

子ども食堂を開くことを周知してもらうためにどうしたらよいか、どのように参加者を募るかその方法を十分話し合いました。

やりがいを感じる時はどんなときですか？

子どもたちが食事をしているとき「おかわりください」「おいしい」と言ってくれるときや、目をキラキラさせて「読み聞かせ」に集中しているときなど、開催してよかったなあと感じます。



SNS



@MATUDAIRAKODOMOSYOKUDO

② こどもとつくる 10 代子ども食堂「ゆるっとほっとかふえ」

《特徴・テーマ》

みんなとつくと楽しいね♪ みんなで食べるとおいしいね♪

実施概要

運営者

ゆるっとかふえの会
(ボランティアグループ)

開催場所

末野原交流館
(豊田市豊栄町 11-36-1)

開催日時

原則第 3 日曜日
13 時～15 時 随時変更あり

対象者、参加費

豊田市内に在住の 10 代
100 円

開始時期

平成 29 年 1 月

支援・寄付のお願い

寄付のお願い

菓子、飲料水、寄付金

ゆるっとほっとかふえでは、こどもを主役にひとりひとり丁寧に見守り、困った時に安心して相談できる居場所を継続しています。

こども自身が食でも自立できるよう調理実習をし生きるチカラを育てています。こどもの福祉、未来あるこども達の安心した社会への巣立ちをサポートしています。

始めたきっかけは何ですか？

主任児童委員として 9 年間活動するなかで、さまざまな家庭環境のこどもたちと出会い、そのこどもたちの未来を大切に、地域で顔の見える支援、見守りある居場所を作ることになりました。特に義務教育後の見守りが途切れがちなこどもたちを中心に、切れ目ないゆるやかなつながりを保ちつつ見守りたいと思っています。

立ち上げ時に苦労したことを教えてください

平成 29 年 1 月の立ち上げ当時、こども食堂がほとんどなかったため、目的や活動内容について理解していただくことに苦労しました。

やりがいを感じる時はどんなときですか？

「ゆるっとほっとかふえ」に参加するごとにこどもたちの心がほぐれ、安心できる居場所となり、こどもがひとりでも参加できるようになった姿を見たときや、行政等へつながることによって子どもの希望や夢が現実となり、歩み始めたこどもの背中を見たときです。いつでも戻れる居場所でありたい。

SNS

 10daikodomosyokudo



② あそびとくらしとまなびの家 ちゃぽっと

《特徴・テーマ》

人も資源も循環する場所『やりたい!』をカタチにする

実施概要

運営者

一般社団法人 ちゃぽっと

開催場所

民家（豊栄町内）

開催日時

第1・3月曜日
10時～13時

対象者、参加費

どなたでも カンパ制

開始時期

平成30年6月

支援・寄付のお願い

寄付のお願い

食材、菓子、飲料水、寄付金

ボランティア募集

調理補助、学習支援、
話し相手、遊び相手

ちゃぽっとは、あそこに行けば誰かに会える家、困ったとき助けてが言える家、子どもも大人も集いつながる家。人にも環境にも優しく、人も資源も循環する場を目指しています。

始めたきっかけは何ですか？

「子ども食堂を始めたい」からではなく、「地域で子育てしたい」「地域での暮らしを豊かにしたい」「多世代でつながり交流する場を作りたい」と多くの「やりたい」気持ちが重なって、居場所を作るために空き家を購入し、子どもだけでなく地域の方を対象に、カレーパーティーから始めました。

立ち上げ時に苦労したことを教えてください

地域の住民の方に理解してもらうことや周知の方法、資金調達は苦労しました。助成金申請で何度も心が折れそうになりました。自立を目標にしていますが、公的な支援を受けたことで、地域への周知や様々なつながりができました。

やりがいを感じる時はどんなときですか？

参加者が笑顔で参加してくださるとき、「楽しかった!」と帰られるときです。また、「おたがいさま」という言葉が好きで、お年寄りが子どもを見て、笑顔になって、パワーをもらう。子どもは多くの人にふれあって心が豊かになる。そして、そのママは久しぶりに大人とゆっくりおしゃべりして食事をする。そんな空間が生まれたときです。地域活動は、ボランティアが軸に考えられがちですが、私たちのような地域での活動が仕事となり、若者が仕事を創り出せるようになる仕組みを作ることを目指しています！



SNS



あそびとくらしとまなびの家 ちゃぽっと



cha.potto

②4 郷の里

《特徴・テーマ》

空き寺を活用して、子どもも大人も心が安らぐあったかい場所

実施概要

運営者

アイムホーム
(ボランティアグループ)

開催場所

社協へお問合せください

開催日時

第1・3木曜日
13時～15時

対象者、参加費

上郷中学校区内および
他地域含め豊田市在住
子ども、大人 無料

開始時期

平成30年6月

温かい居場所や人との出会いの中で、子どもが自分を認め、自分らしさをみつけながら社会とつながり、生きていこうとする力を育む。郷の里が、ほんの一助となればという思いで活動しています。

食事は、子どもの希望メニューを取り入れ、温かい食事を囲みゆったりと過ごせるようにしています。現在は保護者支援も活動のひとつとして取り組んでいます。

始めたきっかけは何ですか？

仕事を退職し地域に目を向けたときに、学校へ通えずにいる子どもの存在を知り、そんな子どもや家庭に手を差し伸べられたらと思いました。引きこもりがちな子どもが家から一歩出て、社会とつながり心がやすらぐ居場所を作りたいと思ったことがきっかけです。

立ち上げ時に苦労したことを教えてください

立ち上げ当初より、近隣学校の協力やアドバイスを受けられたことや、立ち上げ資金を東名ライオンズから受けるなど多くの理解者に恵まれたことが大きな励みになりました。また、地域の理解を得られ、活動場所の確保もでき、大変幸運だったと思います。

やりがいを感じる時はどんなときですか？

子ども達が思い思いに好きなことをしたり、ボランティアとおしゃべりをしたりするなかで見せる笑顔や、安らいだ表情に出会ったとき、親御さんの安心した姿を見たときは嬉しさとやりがいを感じます。私たちが元気をもらっています。子ども達が自分の好きなことをするなかで、心が穏やかになるような雰囲気づくりに努めています。複雑な思いのなかで頑張っている親御さんの姿に寄り添い、共感しながら話を聞いていく時間を大事にしていきたいです。



②⑤ 枹塚西町多世代交流サロン型子ども食堂

≪特徴・テーマ≫

地域の子どもと大人が集まるふれ合いの場

実施概要

運営者

枹塚西町ささえ愛隊
(ボランティアグループ)

開催場所

枹塚西町児童館・区民会館
(枹塚西町南山9 7-1)

開催日時

不定期
9時30分～12時

対象者、参加費

上郷中学校区内に在住
子ども 無料
親・一般 100円
※他地区の方も参加可能

開始時期

平成30年8月

支援・寄付のお願い

寄付のお願い

食材、菓子、飲料水、寄付金

ボランティア募集

調理補助、学習支援、話し相手、
遊び相手

枹塚西町多世代交流サロン型子ども食堂は、地域の多世代の人々と交流する会です。

五平餅づくりなどイベントを取り入れています。

始めたきっかけは何ですか？

地域みんなの「居場所づくり」をしたかったからです。多世代交流サロンで、地域住民どなたでも参加出来る会を作り、高齢者と子どもたちとのふれ合いの場になっています。

立ち上げ時に苦労したことを教えてください

挨拶も希薄になった今、地域の子どもたちと接するイベントをどんな風に行ったら良いのか悩みました。

また、参加者の家族へ理解を得るために周知していくことが大変でした。

地域の様々な関係者や団体と、コミュニケーションを図りながら理解を求めました。コロナ禍なので、様子を見ながら感染対策をして活動します。

継続的に、子どもたちと接する機会を増やしたいと思います。

やりがいを感じる時はどんなときですか？

参加者の笑顔に出会えたときや、子どもたちがイキイキと高齢者とのふれ合いをしているとき。また、みんなで楽しく過ごせたときはやりがいになります。



②6 みんなのげんき食堂

《特徴・テーマ》

レクリエーションもできる多世代の居場所

実施概要

運営者

みんなのげんき食堂
(ボランティアグループ)

開催場所

上郷交流館
(上郷町 5 丁目 1-1)

開催日時

第 3 日曜日 変更の月もあり

対象者、参加費

上郷地区の小学生・高齢者
小学生まで 100 円
中学生から 300 円

開始時期

令和 6 年 4 月

支援・寄付のお願い

寄付のお願い

食材・お菓子・飲料水・
遊び相手・寄付金

ボランティア募集

上郷地区在住の方を募集

まずは、上郷地区在住の方々に認知していただきたいです。私たちの活動の中で「食を通じてこそ生まれる繋がり、`同じ釜の飯、を食べた者同士の信頼感、を実感して欲しい」「一緒に調理する作業を通して、学びや楽しさや絆を構築して欲しい」を目指しています。

始めたきっかけは何ですか？

これから少子化が加速する中、子どもたちは『社会の宝』と考え、ひとり親家族・障がい者家族・ヤングケアラー・海外にルーツのある家族の子ども達が地域の人と繋がれる場所、多世代が集まれる場所、を作りたいと思いました。

立ち上げ時に苦労したことを教えてください

立ち上げ時の流れ、全体の細かなマニュアルが無かった事です。特に寄付金（社会福祉協議会、豊田市、愛知県）に苦労し、全てギリギリに申請しました。

その中でも愛知県は初回 1 回のみの申請で 7 月初旬に購入後申請だったので、1 週間で購入し申請と大変バタバタでした。

やりがいを感じる時はどんなときですか？

調理やレクリエーション活動時の子ども達の楽しそうな笑顔を見た時、帰りに「楽しかった～また来たい!」「また来るね」「美味しかった♪」「来月も予約します」と伝えてくれる時、活動後 `アンケート、や `感想メモ、を書いてもらいそれをまとめる時、大変嬉しくやりがいを感じます。更に、子ども食堂の活動の中で、子ども達同士や子どもとボランティア、ボランティア同士が繋がった時、この居場所を作って本当に良かったとやりがいを感じます。



SNS  genkisyokudou-toyota

②7 こども食堂 さんぽみち

《特徴・テーマ》

みんなで、楽しくおいしく調理をしよう！

実施概要

運営者

一般社団法人天使のかけはし

開催場所

カフェ癒し空間

AngelMother

(若林西町松間 20-1)

開催日時

毎月第4土曜日 16時～19時

パントリーもあり

※開催日変更あり

対象者、参加費

高岡中学校区内に在住（支援の必要なご家庭のお子さんが対象）

子ども 無料

開始時期

平成30年9月

支援・寄付のお願い

寄付のお願い

食材、菓子、飲料水、寄付金

さんぽみちは、子どもが必要な支援を受けられるように、様々な相談ごとのできる居場所を目指しています。そのため、安心できるように家庭的な雰囲気を作っています。日々の生活の困り事などコミュニケーションを取りながらかかわっています。

始めたきっかけは何ですか？

一般社団法人「天使のかけはし」として不登校支援を行っていて、居場所づくりや人の関わりに興味を持ちました。子ども食堂のあり方について、考えさせられ始めました。

立ち上げ時に苦労したことを教えてください

地域の方の理解を得ることに現在も苦労しました。少しずつですが地域とのつながりができてきたので今後はもっと地域の理解を得て、協力をいただけるように努めたいです。また、支援を必要としている子どもへ周知することの難しさも感じています。

やりがいを感じる時はどんなときですか？

毎回楽しみに来てくれる子どもがいること。また、ボランティアメンバーが楽しそうに参加してくれていると嬉しいです。

ホームページ・SNS



一般社団法人天使のかけはし



こども食堂 さんぽみち



②⑧ エンジェル子ども食堂

《特徴・テーマ》

老若男女、関係なくだれもが集える空間づくり

実施概要

運営者

エンジェル
(ボランティアグループ)

開催場所

カフェ癒し空間
AngelMother
(若林西町松間 20-1)

開催日時

毎月第3土曜日 16時～18時

対象者、参加費

どなたでも 無料

開始時期

令和4年4月

支援・寄付のお願い

寄付のお願い

食材、菓子、飲料水

エンジェル子ども食堂は、子どもが1人で参加して悩みを打ち明けられるような空間をつくり、老若男女・様々な年齢の人が集うことのできる場所を目指しています。

始めたきっかけは何ですか？

対象者を限定した子ども食堂を身近でみていて、「地域の方が集える場所があったらいいな」と思ったことがきっかけで食事の提供をしています。

立ち上げ時に苦労したことを教えてください

活動を長く続けていくために、食材の確保をしていくことの難しさも感じています。特に、子どもが好きなお肉のような冷蔵品などが定期的に寄付があると嬉しく思います。

やりがいを感じる時はどんなときですか？

子どもたちの楽しそうにしている姿をみたり、楽しそうにしている声を聞いたときです。

コロナウイルス感染対策で、密にならないように工夫をしているので『誰でも参加できるように』と思っている反面、人数の制限をして思うように活動ができていない事が残念です。

まだ、開催して日が浅いため誰でも参加できるような雰囲気をつくるために試行錯誤をしています。



SNS



エンジェルマザー

②9 前林ひまわり食堂

《特徴・テーマ》

多世代交流の場づくりと体験型おっさん食堂

実施概要

運営者

前林発展会
(ボランティアグループ)

開催場所

つつみ食堂
(堤本町本地5)

開催日時

毎月第4土曜日 11時～14時

対象者、参加費

前林中学校区内に在住
子ども 100円 (中学生以下)
大人 200円 + お気持ち

開始時期

令和3年5月

支援・寄付のお願い

寄付のお願い

食材、菓子、飲料水、寄付金

ボランティア募集

学習支援、遊び相手

前林ひまわり食堂は、前林地域を面白くしたいと集まった有志のおじさん集団“前林発展会”が運営しています。食事提供や食材配布だけでなく、子どもと一緒に楽しく虫取りや農作業、魚釣りなど体験型のおっさん食堂を目指しています。

始めたきっかけは何ですか？

子供会や部活動の活動が減少している現代こそ、高齢者から子どもまでが集まって活動できる場が必要だと感じました。また、地域の担い手不足解消のために各自治区の助っ人として必要な場所へ駆けつける役割も担っています。

立ち上げ時に苦労したことを教えてください

本当に困っている子どもが地域にいるのか分からなかったため、立ち上げる必要があるのかどうか判断に困りましたが、豊田市役所福祉総合相談課に相談したら色々なことが分かり、進むべき方向性が少しずつ見えてきました。

やりがいを感じる時はどんなときですか？

子どもたちが本当に嬉しそうで、大きな声で“ありがとう”と言ってくれたときは、やって良かったと思います。

本当に困っている家庭に支援が届くように、多くの方に知ってもらえるような周知方法を工夫していきたいと思っています。地元の皆さんに周知していただき、たくさんの方々に来てもらって、子どもたちの楽しそうな様子が見られると嬉しく思います。



SNS



③〇 おおぞらランチ

《特徴・テーマ》

できることから開始！個別の支援から子ども食堂へ

実施概要

運営者

おおぞら若園
(ボランティアグループ)

開催場所

若園交流館
(花園町塩倉 28-9)

開催日時

毎月第1土曜日 10時～14時
※開催日時変更あり

対象者、参加費

若園小学校の子ども 100円
中・高ボランティア 200円
大人 300円
※対象者は要相談

開始時期

令和2年3月

支援・寄付のお願い

寄付のお願い

食材、菓子、飲み物、寄付金

地域子どもたちが気軽に行く事ができる居場所づくりを目的に、子ども食堂「おおぞらランチ」の活動をしています。

地域子どもたちのために何かしたい仲間が集まり結成した“おおぞら若園”が主催しています。

始めたきっかけは何ですか？

地域に困っている子や、困っている家庭があることを知り、地域子どもたちのために何かしたいという思いでボランティアが集まりました。最初は、個別の支援で学校の登校に付き添いをするなど、できることから始めました。メンバーのなかに、料理が好きな方がいたことをきっかけに、子どもたちを誘い、一緒に料理をして食事をする子ども食堂を始めました。

立ち上げ時に苦労したことを教えてください

拠点となる場所が見つからず、3地区を転々としながら施設を借りて活動をしました。開催する場所によって、駐車場が狭かったり食器がなかったりして苦労しました。地域の理解や周囲の協力があつたことでここまでやってこれました。

やりがいを感じる時はどんなときですか？

子ども達が、楽しそうに調理している姿を見ると嬉しいです。それだけでなく、地域の方や企業が活動を知って食材の支援やボランティアとして協力してくれることも、私たちボランティアのやりがいになっています。



③1 なないろ竜神

《特徴・テーマ》

地域の力で、子どもたちが安心して過ごせる居場所作り

実施概要

運営者

なないろ竜神
(ボランティアグループ)

開催場所

竜神交流館
(竜神町新生 1 1 5 - 2)

開催日時

毎月第 3 日曜日
午前 10 時～午後 2 時

対象者、参加費

小学生・中学生
1 人 100 円

開始時期

令和 5 年 12 月

支援・寄付のお願い

寄付のお願い

食材・お菓子・飲料水
寄付金

ボランティア募集

調理補助・遊び相手

学校で「食事が美味しかったよ」「いろんな人が来て楽しいこといっぱいしてくれるよ」と、友だちの間でなないろ竜神が話題になり、参加してみたいくなるような子ども食堂にしたいです。

また、どんな悩みや不安を抱えていても、人とふれ合う中で、前向きになり、ホッと出来る居場所作りを目指します。

始めたきっかけは何ですか？

様々な要因でストレスを抱える子どもが増えています。この竜神地区でも自分の居場所を見つけられずに困っている子どもたちがおり、この地区に安心安全な居場所を一つでも多く増やしていくことが必要だと考え、子ども食堂「なないろ竜神」を始めました。

立ち上げ時に苦労したことを教えてください

子ども食堂をどのように広く周知できるかが課題になりましたが、自治区・小中学校の協力により、認知されるようになってきました。

現在は、公的な支援・補助金、地域の方からの寄付で活動していますが、まだまだ、活動資金の調達に不安があります。

やりがいを感じる時はどんなときですか？

地域の方から提供された旬の野菜を調理して食べ、地域の方や中学生ボランティアによるレクリエーションを楽しんだりする活動を行っています。この活動は、地元の農家や自治区、小学生や中学生などたくさんの方が関わり合っています。この地元の人たちの前向きな関わりは子どもを笑顔に変えるのだと、子ども食堂の活動を通して学びました。これが私達のやりがいになっています。今後も応援してくださる地域の方々に感謝しながら一緒に子どもたちの健やかな成長を応援していきたいと思っています。

SNS  nanairoryujin



③２ チーム トジャク

《特徴・テーマ》

高校生が中心で活躍している子ども食堂

実施概要

運営者

名鉄学園杜若高校 生徒会

開催場所

名鉄学園 杜若高校
(平戸橋町波岩 87-1)

開催日時

不定期

対象者、参加費

小学生 無料

開始時期

令和元年 9月

支援・寄付のお願い

寄付のお願い

食材、菓子、寄付金

チーム トジャクでは、高校生が、地域の子どもたちに向けてイベントを開催し、高校と地域との交流の場を作ることを目的としています。

始めたきっかけは何ですか？

将来子どもと関わっていきたい学生を対象としている子どもサポートプログラムで、子ども食堂として何かできないかと思い始めました。

立ち上げ時に苦労したことを教えてください

子ども食堂について学ぶことから始め、学校としてどのように関われるかを悩みました。

立ち上げ前に、とよた子どもの支援ネットワーク交流会に何度か参加し勉強をしました。

やりがいを感じる時はどんなときですか？

子どもが嬉しそうに帰っていく姿を見たときや、最初は緊張していた子どもが慣れて仲良く遊ぶことができたときです。

また、高校生が自分たちで計画したものを子どもに喜んでもらえたときはやりがいを感じます。

今後は自校開催のみでなく市内子ども食堂に高校生ボランティアとして、参加もしていけたらいいなと思っています。



ホームページ



<http://www.tojaku-h.ed.jp/>

③③ MINNA こども食堂

《特徴・テーマ》

みんな一緒に、MINNA で作って食べよう

実施概要

運営者

NPO トルシード

開催場所

豊田市保見ヶ丘 3-238

開催日時

毎月第 1 土曜日
11 時から 14 時

対象者、参加費

子どもを含む地域住民
こども 無料
おとな ワンコイン

開始時期

令和 2 年 1 0 月

支援・寄付のお願い

寄付のお願い

食材、菓子、飲料水、寄付金

ボランティア募集

調理補助、学習支援、話し相手
遊び相手

みんなと一緒にみんなで作ってみんなで食べることが楽しいと思ってくれる子が増えること、「MINNA こども食堂」を地域の人に知ってもらうことを目指します。

始めたきっかけは何ですか？

「朝ごはんを食べていない」「夏休みにお昼ごはんがない」「いつもひとりで食べている」など、子どもたちの声をきっかけに始めました。現在は、地域の子どもからお年寄りまで、誰でも来られる居場所です。

立ち上げ時に苦労したことを教えてください

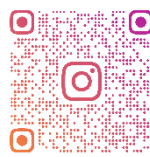
場所の確保に苦労しました。集会所や交流館などを借りて行っていましたが、定着が難しく、試行錯誤しながら、ようやく現在の拠点にたどり着きました。

やりがいを感じる時はどんなときですか？

みんなからの「ごちそうさま」と「ありがとう」の言葉です。ごちそうさまと伝える相手がいること、つながっていることをみんなが感じられる場所になればいいなと思います。誰かと一緒になにかをするのは面倒くさいこともあるかもしれないけれど、でも、面倒くさいことも含めてみんな楽しんでみましょう。



ホームページ・SNS



NPO_TORCIDA



③4 RAINBOW カフェ

《特徴・テーマ》

本格的なパンづくり体験ができる子ども食堂

実施概要

運営者

十人十色
(ボランティアグループ)

開催場所

藤岡交流館
(藤岡飯野町田中 245)

開催日時

2か月に1回 不定期
13時30分～16時

対象者、参加費

子ども、大人 100円

開始時期

平成31年4月

支援・寄付のお願い

寄付のお願い

寄付金、飲料水、強力粉、
トッピングの材料
(ハム、ベーコンなど)

RAINBOW カフェは、学校に行きづらい子どもとその家族を対象に自分らしく過ごせる居場所を目指し活動しています。

多世代の方との交流の場、それぞれの個性が認め合える場でパン作りを楽しんでもらえるよう少人数制で開催しています。

始めたきっかけは何ですか？

9年前から自身の経験を活かしながら不登校支援をやってきました。子どもについて、ご家族から相談を受けているなかで、家庭だけでは解決できない問題もあると思いました。子どもが家族以外の地域の方と関わることができる場所があると良いのではないかと思ったのが始まりです。パンづくりなら、決まった作業をもくもくと進められるので、無理に話をしなくて良いところも魅力だと思ってます。

立ち上げ時に苦労したことを教えてください

困ったということは特別なことです。

やりがいを感じる時はどんなときですか？

子どもたちが、楽しんでパン作りをしている中で、笑顔が見られるときに嬉しくなります。子どもが元気だと親御さんも元気になります。

今後は、少しずつ活動日を増やし、料理やお菓子作りなど幅を広げていきたいと思っています。



ホームページ・SNS



<https://coubic.com/junintoiro>



@junintoiro_rainbow

③⑤ ふじおか子ども食堂

《特徴・テーマ》

自分で作ってみんなで食べるってすごくいい！！

実施概要

運営者

ふじおか子ども食堂
(ボランティアグループ)

開催場所

JA グリーンセンター藤岡店
調理室
(西中山町稲場 161-1)

開催日時

2か月に1回 不定期
10時30分～13時

対象者、参加費

西中山小学校 4～6年生
子ども 100円

開始時期

令和4年7月

支援・寄付のお願い

寄付のお願い

食材、菓子、飲料水、寄付金

ふじおか子ども食堂は、地域の急激な人口増加のなかでの多世代交流の場として家でも学校でもない地域の居場所づくりを目指しています。

始めたきっかけは何ですか？

もっと野菜に興味をもってもらい藤岡の畑で育った野菜たちを使ってみんなで作ってみんなで食べることができれば嬉しいなと思い立ち上げました。

立ち上げ時に苦労したことを教えてください

開催場所探しや参加者募集に苦労しました。また、子ども食堂はご飯が食べられないような子どもが行くところというイメージが強いので、そのイメージを払拭するために、交流館祭へ参加して子ども食堂について住民に説明する機会をつくりました。

やりがいを感じる時はどんなときですか？

子どもたちが笑顔で参加してくれたり親御さんからの温かいメッセージをいただいています。

次回を楽しみにしてくれていること、更に野菜や食に興味を持ってくれたことが嬉しく、やりがいを感じます。



SNS



485zvehy



③⑥ リトル キッチン クラブ

《特徴・テーマ》

食べたい物をみんなで作って食べるみんなのキッチン！

実施概要

運営者

リトルキッチンクラブ
(ボランティアグループ)

開催場所

旭交流館
(小渡町船戸 15-1)

開催日時

原則毎月第 1 土曜日
11 時～13 時

対象者、参加費

小学校 4 年生～17 歳
子ども 無料

開始時期

令和 5 年 1 月

今までどおり、リクエスト献立を自分たちで協力して作れるようにしていきます。

始めたきっかけは何ですか？

コロナ禍で家族以外の人との交流が制限されたり食べるという楽しいことが危険になってしまったため。

立ち上げ時に苦労したことを教えてください

コロナ感染防止対策。

やりがいを感じる時はどんなときですか？

参加者が部活動や受験で忙しい中、保護者の方が協力して送り迎えや食材の受け取りをしてくださる時です。



始めてみたい!と思った方へ

こども食堂の立ち上げ方(例)

開催までのステップの一例を簡単にご紹介します

STEP1 どんな居場所かイメージしよう

STEP2 中心となるスタッフを集めよう

STEP3 なぜ始めるのか「主旨」を明確にしてスタッフ内で共有をしよう

STEP4 自分たちのイメージに合うこども食堂の見学をしよう

STEP5 集まりやすい会場や無理なく続けられる開催頻度・対象者などを決めよう

STEP6 地域や関係機関と調整しながら協力者の理解を得よう

STEP7 お試し会(プレオープン)を企画、チラシを作成・配付し参加者を募ろう

STEP8 **お試し会(プレオープン)開催**

STEP9 お試し会実施後、これからの開催をより良くするためにスタッフ間で意見交換をしよう

活動上の注意点

- 1 こどもたちの、安心・安全な環境づくりを心掛けましょう
- 2 調理をする際は、保健衛生のルールを守りましょう
- 3 万が一に備え保険に加入しましょう

応援したい!と思った方へ

こども食堂への寄付(例)



寄付者

こども食堂へ
寄付がしたいな

ご希望に添えるよう
社協から紹介させて
いただきます♪



こども食堂への支援(ボランティア活動)

こども食堂では、

- ・スタッフの調理のお手伝いをする人
- ・子どものペースで勉強を教えてくれる学習支援の人
- ・見守りながら子どもと一緒に遊んでくれる人
- ・子どものペースで話し相手になってくれる人

など多くのボランティアさんの助けを必要としています

どこに相談?と思ったら、
豊田市社会福祉協議会
(シャキョー)に
相談してみよう!

ご相談はお近くの豊田市社協 支所・出張所窓口へ♪

<p>上郷・末野原 中学校区</p> <p>上郷出張所（土・日曜日、祝日休み）</p> <p>〒470-1218</p> <p>豊田市上郷町5丁目1番地1 （上郷コミュニティセンター内）</p> <p>電 話：（0565）41-5088 FAX：（0565）41-5099</p>	<p>井郷・石野・</p> <p>猿投・猿投台・保見 中学校区</p> <p>猿投出張所（土・日曜日、祝日休み）</p> <p>〒470-0373</p> <p>豊田市四郷町東畑70番地1 （猿投コミュニティセンター内）</p> <p>電 話：（0565）41-3082 FAX：（0565）41-3083</p>
<p>前林・竜神・若園・高岡 中学校区</p> <p>高岡出張所（土・日曜日、祝日休み）</p> <p>〒473-0933</p> <p>豊田市高岡町長根51番地 （高岡コミュニティセンター内）</p> <p>電 話：（0565）85-7720 FAX：（0565）85-7733</p>	<p>高橋・益富・松平・美里 中学校区</p> <p>高橋・松平出張所（土・日曜日、祝日休み）</p> <p>〒471-0014</p> <p>豊田市東山町2丁目1番地1 （高橋コミュニティセンター内）</p> <p>電 話：（0565）85-1120 FAX：（0565）85-1122</p>
<p>旭支所（土・日曜日、祝日休み）</p> <p>〒444-2824</p> <p>豊田市池島町屋ヶ平22番地 （豊田市老人福祉センターぬくもりの里内）</p> <p>電 話：（0565）68-3890 FAX：（0565）68-2801</p>	<p>足助支所（土・日曜日、祝日休み）</p> <p>〒444-2424</p> <p>豊田市足助町東貝戸10番地 （豊田市介護予防拠点施設足助まめだ館内）</p> <p>電 話：（0565）62-1857 FAX：（0565）61-1115</p>
<p>稲武支所（土・日曜日、祝日休み）</p> <p>〒441-2521</p> <p>豊田市桑原町中村5番地 （豊田市稲武福祉センター内）</p> <p>電 話：（0565）82-2068 FAX：（0565）82-3604</p>	<p>小原支所（土・日曜日、祝日休み）</p> <p>〒470-0564</p> <p>豊田市沢田町梅ノ木574番地 （豊田市小原福祉センターふくしの里内）</p> <p>電 話：（0565）65-3350 FAX：（0565）65-3705</p>
<p>下山支所（土・日曜日、祝日休み）</p> <p>〒444-3252</p> <p>豊田市神殿町中切7番地2 （豊田市下山保健福祉センターまどいの丘内）</p> <p>電 話：（0565）90-4005 FAX：（0565）90-2419</p>	<p>藤岡支所（土・日曜日、祝日休み）</p> <p>〒470-0451</p> <p>豊田市藤岡飯野町坂口1207番地2 （豊田市藤岡福祉センターふじのさと内）</p> <p>電 話：（0565）76-3606 FAX：（0565）76-3608</p>
<p>崇化館・朝日丘・豊南・逢妻・梅坪台・浄水 中学校区</p> <p>共生推進課（日・月曜日、祝日休み）</p> <p>〒471-0877 豊田市錦町1丁目1番地1（豊田市福祉センター2階）</p> <p>電話：（0565）31-1294 FAX：（0565）33-2346</p>	

※年末年始（12月29日～1月3日）は共通して休日となります。

とよたのこども食堂

この冊子は、こどもの健全な育成を支援する取り組みを応援するためにいただいた寄付金を原資とした「豊田市社会福祉協議会子ども基金」を活用しています。

令和8年1月 発行

社会福祉法人 豊田市社会福祉協議会 共生推進課
〒471-0877

豊田市錦町1丁目1番地1 豊田市福祉センター内
TEL 0565-31-1294 FAX 0565-33-2346

メールアドレス vc@toyota-shakyo.jp

(休館日 日月祝日、12月29日～1月3日)